

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	長崎県立大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナガサキケンリツダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F142210111196
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	長崎県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	公立大学
	科目名	海外ビジネス研修
	学部・研究科等名	経営学部 国際経営学科
	担当教職員名・役職	矢野 生子:教授
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	38
	受入企業等数	26
	受入企業等名	タイ、ベトナムにおける日系企業及び公的機関等
	産学協議会の整理上の類型	2.タイプ2(キャリア教育)
	キャリア形成支援活動の分類	3.海外でのキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	短期間の海外インターンシップや就業体験を通じ、必要な知識や実務能力を高め、キャリア形成の動機づけを図ることを目的とする。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	3.当該キャリア形成支援活動は、専門教育科目として実施している 4.当該キャリア形成支援活動は、必修科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	3年生を対象に、夏期休業期間中の3週間の就業体験を組み合わせた専門教育科目「海外ビジネス研修」として実施している。本科目では、自立したビジネスパーソンになるための基礎・専門科目の理解を深めることに加え、国際社会の動向に関心を持ち、克服すべき課題に自ら理論的、創造的に解決できる能力を身につける。通年の必修科目として設定し、2単位を付与している。
	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	全10回の事前学習において、研修の意義と目的(第1回)、研修国や企業、業界の研究(第2、3回)やグループワークなどを実施し、受け入れ先業が進出している国や地域の状況および企業が所属する業界状況、さらには異文化理解や社会人としてのビジネスマナー等を習得する。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	研修先企業において、インターンシップのまとめとして英語による報告会を実施している。また、帰国後に各自の活動を振り返り報告書を作成し、学内外の関係者への報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	研修当初の1週間程度は各地に担当教員が帯同し、必要に応じ学生との面談等を行うことで進捗状況などを確認する。教員の帰国後はWebチャットツールなどを利用して随時状況のモニタリングを行っている。
	要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。
4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み		1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.キャリア形成支援活動による到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み		
4-3.上記回答内容に関する詳細		TOEICスコアによる研修参加要件(730点)を課しており、効果的な研修が行えるよう事前に一定の語学力を修得させることとしている。研修後は英語及び日本語での報告書作成を行うとともにアンケートを実施し、自身での振り返りや教育効果の確認を行う。評価については統一した評価基準を整備している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	3週間
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	同一企業において3週間のインターンシップを実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業に御理解いただき、出来るだけ企業の負担を抑えるために簡潔な評価票の記入をお願いしている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://sun.ac.jp/students_guide/
問い合わせ先	大学等名	長崎県立大学
	担当部署名	学生支援課教務グループ
	担当者役職名	課長補佐
	担当者氏名	吉田 利通
	電話番号	0956-47-5706
	メールアドレス	kyomu@sun.ac.jp